

第2回 市長とジェンダーミーティング 開催報告

日時: 令和4年10月20日(木) 13時30分～16時00分

会場: イオンモール苫小牧セントラルコート

参加者: 苫小牧市長、企業・市民団体等14名、事務局6名

《第1部》

●市長挨拶

みなさんこんにちは。第2回目を迎えました市長とジェンダーミーティングであります。今回はこのイオンという会場で、いつもイベントは行っていますが、このようなミーティングを行うのは初めてでございます。時代に近づく努力をしなければならない、そのテーマの一つがこの LGBT、そのことをテーマにした第2回目のミーティングであります。そしてイオンモールでお買い物中の皆様にとっても少し雰囲気の違いこれからの時間になりますけれども、願わくば足を止めていただいて、この問題、少しでも感じていただければ有難いと思います。

先ほど宣言を読み上げました。あの宣言ができたのが 2013 年であります。そしてその後 2017 年に、多くの皆様にご協力いただいて、日本女性会議を成功させることができました。あの時期から、日本の社会全体で遅れていた「男女平等参画」というテーマが、政治の世界でも軸になってきました。我々はそれ以降、市民会議を構成して様々な取り組みをしましたが、それをファーストラウンドだとすると、このジェンダーミーティングはその後継のセカンドラウンドということになります。今日は、そのセカンドラウンドの2回目のミーティングということで、LGBT をテーマとさせていただきます。

限られた時間ではありますが、前段は市のスペシャリストによるプレゼンテーションを聞いていただき、後段でグループディスカッションを行っていただきたいと思います。こうした動きが一人でも多くの皆様に響くことを願いながら、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。皆様よろしくお祈いします。

●“多様な性”についての基礎知識が学べる講座「LGBT ってなんだろう？」

講師: 市 ALLY 職員

《第2部》

●市長挨拶

第1部、少し聞こえにくい部分もあったかもしれませんが、この LGBT について市役所で何かやっているな、というアピールができたのではないかと思います。さて、この男女平等参画の推進、というのが我々の最大のミッションであります。そのために、これまで様々な経過がありました。そして今回のテーマ「性の多様性」については、SDGs の中でも非常に力強く関わっているテーマでもあります。

冒頭でも言いましたが、時代が求めているテーマである。それを、こういう地方都市に住んでいる我々一市民としてどう考えていくべきなのか、という観点からも、アプローチをしていかなければならないと考えております。一回ジェンダーミーティングをやっただけで解決する課題ではありませんけれども、それぞれのお立場でぜひ、さらにアプローチをしていただければ有難いと思います。

今日、道議会議員の沖田さんがいらっしゃっておりますけれども、何か感想はありますか？札幌からわざわざ

ざ来ていただいてありがとうございます。それでは、グループディスカッション、いつもと違う雰囲気の中ではありますが、進め方について事務局より説明させていただきます。

●グループディスカッション

各自が新たに気付いたことや感想についてグループ内で共有。

●宣言行動

参加者それぞれが「多様な性を応援するための行動宣言」を実施。

・メンバー1

「多様な性を尊重するため、私は先入観を捨て、一人ひとりと向き合うようにします」

本日はどうもありがとうございました。今日たくさん学びがありまして、当然会社としても色々やっている中で当たり前だと思っていましたけれども、改めて考えると、今会社にある問題点などわかったところがありました。否定とかもありましたので、色々な機会を通じて、本社と話をしながら、会社としても多様な性を受け入れられるよう取り組んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。

・メンバー2

「多様な性を尊重するため、私は ALLY になり、また ALLY を増やすため社内に普及啓発をします」

今日はありがとうございました。皆様とお話することによって、まだまだ弊社は遅れている部分があるなあ実感しました。今日お話を聞いたことを広めていければと感じています。どうもありがとうございました。

・メンバー3

「多様な性を尊重するため、私は自分の発言、周りの人の発言が人を傷付けないか、意識して行動します」

改めて自分の発言ですとか周りの人の発言大丈夫かな、と考えて、もしこれは傷付けるかな、と思ったときには注意する勇気を持ちたいと思います。本日参加しまして、ちょうど当社が今年取り組もうと思っているダイバーシティ&インクルージョンについて、すごく気付きになる部分が多くありましたので、ぜひ今日気付いたところを社内で伝え広めていきたいと思います。本日はありがとうございました。

・メンバー4

「多様な性を尊重するため、私は差別や偏見を越えて ALLY として応援!!します」

私は 2017 年の女性会議の時に関わらせていただいて SDGs やジェンダー平等について知りました。5年たってようやくだんだんと理解できてきて、そして今日さらにお勉強をさせてもらえました。知り合いにも当事者がいますので、ALLY として応援していきたいと、お話を聞いて決意しました。よろしく願いします。ありがとうございました。

・メンバー5

「多様な性を尊重するため、私は知ります。伝えます。」

今日は本当にありがとうございました。今日のことを、私はまず知ります、そして、伝えます。この二つのことをや

っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

・メンバー6

「多様な性を尊重するため、私は本日の資料を支店の中で共有します。」

弊社も他社さんと同様に、本件に関する重要性というのは認識しつつも、具体的な方針ですとか対策というのがまだまだできていない、という状況にあります。今日、非常に分かり易い資料を作っていただいたので、これをPDFにして社内メンバーにPRしていきたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

・メンバー7

「多様な性を尊重するため、私は企業内 ALLY(サポート体制)を創出します。」

相談しやすい体制であったりとか、正しい理解、言動を会社の中で学んでいくことで、働きやすい職場を作っていくということによって、苫小牧の中で生きていきやすい環境醸成のための一助になればいいなと考えております。本日はありがとうございました。

・メンバー8

「多様な性を尊重するため、私は性的マイノリティの方を意識した言葉選びをします。」

まさかイオンのど真ん中でマイクを持つ日が来るとは思っていなかったですけども(笑) これまで私も LGBTの方と接する機会がなかったわけではないのですけれども、8~10%くらい性的マイノリティの方がいらっしゃるということで、私がいらないうちに LGBTの方や性的マイノリティの方を傷付けていたことが、もしかしたらあるのかもしれないなあとという風に、今回お話を聞いて思いました。これからは、8~10%くらいの方が性的マイノリティとしていらっしゃるということを意識しながら言葉選びをしていこうと思います。本日はどうもありがとうございました。

・メンバー9

「多様な性を尊重するため、私は人を傷付けない呼び方を意識し、考え直し、勉強していきたいと思います。ALLYになります。」

・メンバー10

「多様な性を尊重するため、私は『らしさ』が人それぞれ違うことを踏まえ、人の『あり方』を認めます。」

グループディスカッションの中で、講演の中でも「性はグラデーション」という話がありましたけれども、言われてみれば確かに女の子っぽい男の子だとか、ゲイだという人とか、色々いたよね、っていう話になりました。逆に言うと、そう言っている人たちもいれば、まだそういうことを口に出していない、表に出さないという人も世の中にはいて、今の、こういう日々の中に普通に暮らしている、ということ、まず知ることが大事だと思います。ただいろいろな人がいる、ということ、認めるだけでも、何か力になることがあるのではないかと思います、この宣言にしました。本日はありがとうございました。

・メンバー11

「多様な性を尊重するため、私は『らしく』『らしさ』何を基準に？個人の感覚で人を見たり、決めつけはないだろうか。もっと人の個性を認め合う時代に、私たちから意識改革をします。」

今日色々なお話を聞かせていただいて、当事者の方も来てらして、実際にお話しを聞けて本当に良かったです。今日伺ったことを色々な人たちに伝えていきたいなと思いました。「らしく」とか「らしさ」とか、人間って何を基準に言うのかなって。それって個人の感覚で、そこに差別があったりすることは良くないなってこともまたすごく、今日感じました。もっともっとこう、人の個性を認め合う、そういう時代を私たちから変えていかないとダメだな、という風に今日感じました。ありがとうございました。

・メンバー12

「多様な性を尊重するため、私は性差を含め、その人個人を大切にします。」

実はある機関で約 10 年間非常勤講師をさせていただいておりました。その時の生徒さんから、今日の第1部でカミングアウトという言葉がありましたけれども、実は先生ちょっと聞いてほしいことがあるんだと、お話を聞くことになりました。その聞いた場所がちょうど、この目の前のスターバックスさんだったんですね。その生徒さんは、今一緒に住んでいる人がいます、その一緒に住んでいる方が実は女性だということだったんです。実はその頃、正直なところ、そのお話を聞いたときは、ちょっと引きました。あまり私自身に、やはり経験がなかったもので、ちょっと驚いたというのが現実でした。

でもそのあとですね、色々な情報が入るようになりまして、今このような機会に私も参加させていただきました。そして当会の規約にもですね、男女平等参画社会を目指す、という風に目的が書かれているんですけども、今のこの状況は、やはり男女という区分けだけでは済まないなという風に思っております。当会自体もこのことに関しまして勉強、情報を集めまして知識を深めていきたいと思っております。今後とも勉強の場をよろしくお願ひします。ありがとうございました。

・メンバー13

「多様な性を尊重するため、私は知ろうとする、考え続ける、今日の前にいる人への思いやりを。」

今日は素晴らしい知る機会をいただけたと感じております。本当にありがとうございました。グループディスカッションの中で色々な話を聞いて、色々なことを考える機会になりました。考えれば考えるほど、じゃああれはどうなんだろう、これはどうなんだろう、と、考えることが尽きていかないな、というのが正直な感想です。なので、私個人としては、まず入口としては知ること、あとはそれについて考え続ける、ということをお願いしていきたいなと思っております。

・メンバー14

「多様な性を尊重するため、私は研究します。」

私は非常にシンプルな宣言にしました。今日お話しいただいたことは、職親会は障がい者のことをやっていますし、当事者の方も周りにいらっしゃって、非常にわかります。私自身はわかるつもりでいますけれども、これをじゃあ自分の職場だとか社会に、どういうふうこれを落とし込んでいくか、それを考えていくとやはり色々な問題がまだまだあって、簡単にはできない、ちょっと私も説明ができないな、と思ったものですから、そういうところで私は研究をします、という宣言にいたしました。非常に勉強になるいい機会でした。ありがとうございました。

●市長より総括

長時間にわたりありがとうございました。ジェンダーミーティングとしては2回目ということになります。会場も初めてのところで新鮮味があったのではないかと思います。時代認識を共有して、我々の目の前にある課題にみんなでチャレンジして立ち向かっていく、そういう時代なんだな、ということをつくづく感じながらみなさんの発表を聞かせていただきました。

最後に、今日何度か出てきていますが、来年1月から、苫小牧市でパートナーシップ制度が導入、スタートすることになります。担当が作った分かり易い資料があります。パートナーシップ制度を導入したらどういう効果があるか、3つの効果が記載されています。ご依頼をいただければカラー印刷をしてお渡しますので、できればこの制度、分かり易く市民のみなさんに知ってもらうことが大事だと考えておりますので、資料のご要望があれば市の方にお問い合わせください。理解を広めたいんですね。ぜひよろしく願いしたいなと思います。

長時間にわたり本当にありがとうございました。これからもよろしく願いを申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。